ことりだより

Vol.2

2025.1
株式会社ＦａｍｉｌｙＦｅｅｌｉｎｇｓ
訪問看護ステーションことり

新年あけましておめでとうございます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、今年から「ことりだより」では、地域の医療機関との連携について、情報発信していきたいと思います。
今年最初の連携医療機関のご紹介は「皮フ科・アレルギー科　吉益クリニック」様になります。

皮フ科・アレルギー科　吉益クリニック　吉益　隆医師

1. ご挨拶

　新年あけましておめでとうございます。有田市糸我で皮膚科を開業しております「皮膚科・アレルギー科吉益クリニック」の吉益隆です。日頃は有田エリアをはじめ、遠方からの患者様も診療しております。今後ともよろしくお願いします。

2. 医療機関での訪問看護利用について

　当院では、多くの褥瘡の患者様が通院されております。通院には、ご家族様が介助して来院されていますが、超高齢社会ということもあり、大変な労力がともないます。そのようなこともあり、当院ではご家族様や患者様の負担を軽減するため、訪問看護の利用を薦めています。

3. 訪問看護事業所との連携について

　訪問看護事業所とは、定期的に、また、必要であればリアルタイムに情報を共有し、患者様への医療サービスを提供させていただいております。訪問看護を利用するメリットとして、適切な処置をしていただくのはもちろんですが、褥瘡が悪化や再発しないように、除圧や体圧分散の方法などのアドバイスも患者様や介護するご家族様にしていただいております。

4. 今後に期待すること

　「訪問看護ステーションことり」の吉田さんは、私が有田市立病院の勤務医時代に、一緒に仕事をしていた同僚です。なので、いつも安心して紹介させていただいています。今後も「ことり」さんには、地域に密着した訪問看護を期待しています。

―　吉益隆先生、ご繁忙の中ご回答いただきありがとうございました。

看護師特定行為について

続いて、新春特集ということで、当事業所の特色の一つである看護師特定行為についてご紹介させていただきます。当事業所には、看護師の特定行為区分の一つである「創傷管理関連」を修了した看護師が在籍しています。

文責：上田見香

● 特定行為とは

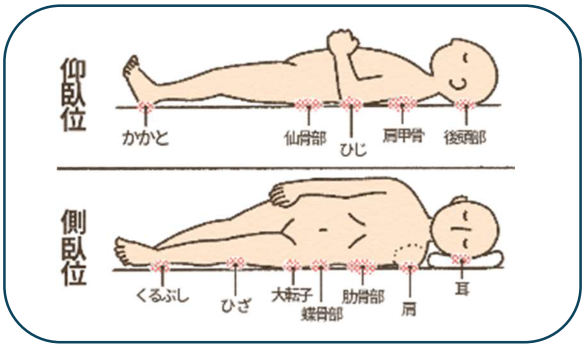
特定行為とは、研修を受講した看護師が医師の指示を待たずに、事前に指示された手順書に基づいて行う医療行為のことです。研修を受講した看護師とは、特定行為を行う場合に必要とされる知識や判断力、高度かつ専門的な技能の向上を図るための「特定行為研修」を修了している看護師をいいます。

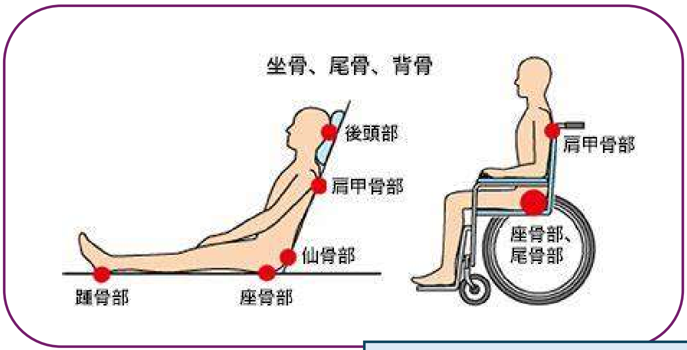
特定行為は 38 項目あり、私はその中の「創傷管理関連」の研修を修了し、利用者様の皮膚のトラブルや褥瘡に対し、適切な処置や予防的ケアを実施・指導しています。

● 褥瘡とは

一般には「床ずれ」とも呼ばれる寝たきりなどによって圧迫された部位の血流が悪くなり、皮膚や筋肉が壊死することを言います。

―褥瘡の好発部位―





基本的に体重がかかりやすい部位に褥瘡は多く発生します。
長時間同一体位でいると一部に血流障害がおこり、褥瘡発生の原因となります。

悪化すると滲出液や出血を伴い、感染を起こしてしまう危険性があります。そのような状態に陥らないために予防的ケアが重要となります。

―褥瘡の初期症状―

1) 発赤：圧迫が生じた皮膚に赤みが出て持続する。
2) 水泡：皮膚の膜に水がたまる。（水ぶくれ）
3) びらん：皮膚の表面が剥がれ落ちて組織が露出した状態。潰瘍になることもある。

● 褥瘡処置について

褥瘡が発生した場合、創部の状態に応じて処置が必要です。まずは同一体位での圧迫を予防すること（除圧）が重要ですが、傷を伴うと細菌感染のリスクがあり、創部を清潔に保つ必要があります。そのため、創部の洗浄や軟膏の塗布、ガーゼやフィルムでの保護処置を毎日行うことが必要となります。また、褥瘡の悪化に伴い、組織が壊死した場合はその部分を除去する処置も必要です。特定行為ではその壊死組織を除去する医療行為を医師の指示のもと（あらかじめ医師と連携して作成した手順書に基づいて）実施することができます。すなわち、在宅で褥瘡のある利用者様に対し、早期に変化を発見し、迅速に対処できることで悪化予防につながります。

● 褥瘡予防について

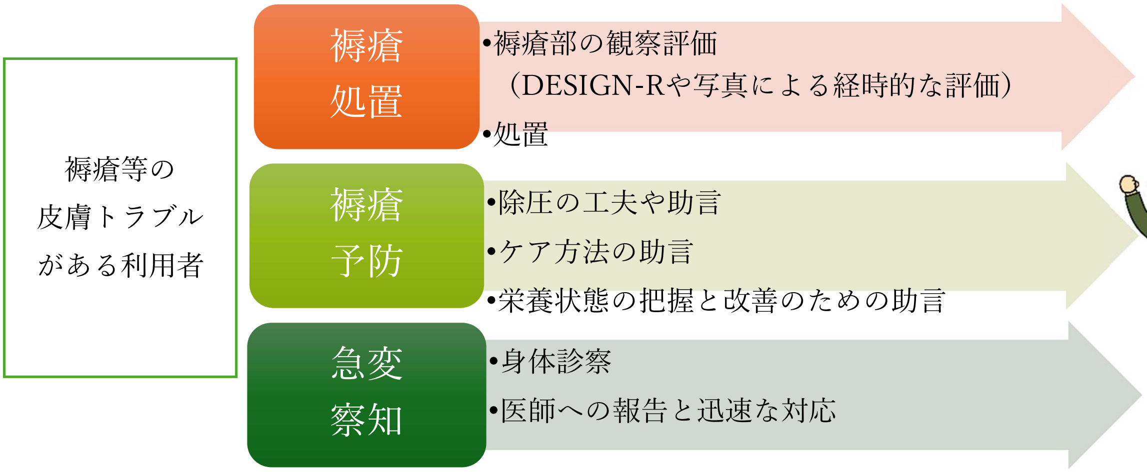
皮膚トラブルの予防では、皮膚をこまめに観察し、体全体を見ることが大事です。私達は利用者さんの保清や体位変換の際には全身の観察を行っています。高齢になるにつれてスキントラブルのリスクは高くなり、入浴や清拭後に保湿剤等で保湿することや摩擦やずれを最小限にすること、排泄物や発汗などによる皮膚の湿潤を予防することが褥瘡を発生させない予防法となります。また、褥瘡予防として、同一部位への持続的な圧迫を避けることも重要です。そのため、自力での体位変換が困難な方に対しては定期的な体位変換が必要です。

それ以外にも低栄養は褥瘡発生の危険因子であり、治癒を促進させるためにも栄養管理が重要です。十分なエネルギーやタンパク質の補給が大切になります。

褥瘡予防は利用者様の生活面も考慮する必要があるため、利用者様やご家族様にとって、ベターな方法をご提案させていただければと思います。

● おわりに

特定行為研修を修了した看護師による褥瘡ケアでは、利用者様の状態を見極めタイムリーに対応・処置ができるため、専門的な介入により病状の悪化を防ぎ、早期発見にもつながります。また、患者の急変を察知するフィジカルアセスメント能力も強化されており、より安心・安楽に療養生活のサポートができます。褥瘡部の処置や評価という医療的な側面だけでなく、褥瘡予防に必要なケア（生活面からみたケア）も提供・提案することができますので、お気軽にご相談いただければと思います。



ご相談は、訪問看護ステーションことりまで

TEL:0737-23-8370